



医療法人清流会くしろホスピタル理事長・精神科医

上村順子さん

新春特別対談

児童虐待について考える

母であることは ひとりの人間であること

豊かな社会の反面で、年々増加の一途を辿っている児童虐待の数。今も3日に1人の割合で、子どもが親から虐待を受けて死に至っているという現実の中、社会の法律やしくみ以前に、私たち一人ひとりができることを真剣に考えるべき時だと実感する。そこで、女性の摂食障害やPTSD(心的外傷後ストレス障害)、児童虐待専門の精神科医として、日夜、患者たちのケアにあたっている上村順子医師に話を伺った。



大人になりきれない人が、
どんだん「お母さん」になっていく。
それが、今の社会の問題です。



藤本 大好きなお母さんから虐待を受けている子どもの気持ちを考えてもたつてもいられず、日々、患者さんと向き合っている上村先生に話を聞きたくおじゃましました。今日は主に「虐待」の現状について教えてください。

上村 日本で「虐待」という言葉が少しずつ出始めたのは、1994年頃のこと。最初は親からの報告で、突然死や事故死と処理されていきました。「虐待」が判明し、児童虐待防止法ができたのが2000年以降、いろいろ対策がとられ今日があります。

藤本 先日発表された平成20年度の児童虐待の数字は、左頁の通り。これは氷山の一角だと思えますが、先生のところには、虐待問題で来られるお母さんも多いのでしょうか。

上村 夫からの相談もあれば、行政と医療の連携で「母子の強制分離」といって、児童相談所から回されてくることもあります。その場合、ある日突然に病院にやってくる母親に対し、一から話を聞き、生活を見ながら、立ち直るまでをケアしていきます。

藤本 さまざまなケースがあると思いますが、子どもを虐待してしまう母親の問題とは、どのようなものなのでしょうか。

上村 多くは母親の生育歴に問題があり、人の痛みがわからないといったケース。反面子どもへの愛情過多で、夫の介入もなく、子どもと24時間べったりしている母子密着のケースも少なくありません。本来なら、大人の領域と子どもの領域を分つ世代間の境界線が必要です。しかしこの境界線がないと、子どもが社会へ出て、さまざま人間関係をつくる時にもトラブルを生む要因になりかねません。

藤本 先生はずっとご専門でこられたようですが、20年前10年前と比べていかがですか。

上村 私の場合は、支持した精神科の医師がたまたま「虐待」を研究していたために、一足早くこの世界に入ったのですが、この間、社会状況は一変。情報社会、経済社会の発展の一方で、「地域」や「家庭」が崩壊、コミュニケーション不全の人間が増え、心構えがないままに「お母さん」になってしまいう人が多いう

ことです。

藤本 先日、内閣府が発表した数字によると、「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」と答えた人が、20代で6割にも達し、驚きました。

上村 おそろしい数字ですが、現実です。結婚以前にさまざまな問題を抱え、壊れてしまっている人が多いということ。つまり、今のお母さんたちの生育環境に問題があった。多くの母親が子育てを一人で背負い込み、「父親」の存在が家庭になかった時代です。もつと昔は家庭に父親の居場所があり、お父さんは「父親」の役割として責任と愛情を持って叱ったもの。怒鳴っても殴っても「心」があるから通じるけれど、「心」もなく怒っては通じるわけがありません。

藤本 お父さんが家にいるかいないかではなく、「心」があるかということですね。お母さん大学にも、母子家庭でもがんばって、父親の役割を果たしている母親もいます。

上村 その場合は、「父親不在」とはいけません。表面ではなく、物事の本質が大切です。子どもが「家庭」のイメージを持たずに大きくなってしまつと、寂しさから異性を次々と求め、結果として望まない妊娠、出産へとつながることもあります。子どもが子どもを産むようなものですね。

藤本 大人になりきれない大人が増えているんですね。心の問題では「トラウマ」という言葉がよく使われますが。

上村 繰り返す人が多いという現実があります。人は傷つきやすく、トラウマともいえる心に負った深い傷は、いろいろな後遺症を引き起こします。虐待をしてしまうお母さんの中には、自らが母親との関係に問題を抱えている場合が多いようです。

「お母さん業界新聞メール版」無料配信！

今すぐカンタン登録

通信料はご負担願います。



ケータイでもパソコンでも読めるメール新聞！
元気になりたいお母さん、
ホッとしたお母さんへ。
元気や勇気が湧いてくる
選りすぐりの情報をお届けします。



- QRコードを読み取り空メールを送信。
 - o@sg-m.jp に空メールを送信。
- いずれも返信されたフォームから登録。

※ドメイン指定受信可否設定を行っている方は、受信指定ドメインに「sg-m.jp」の追加をお願いいたします。
◆ドコモの方は iMenu → お客様サポート → 各種設定 → 詳細な設定 (メール設定) → 迷惑メール対策より設定。
◆auの方はメールキー → Eメール設定 → その他設定 → メールフィルターより設定。
◆SoftBankの方はメニューリスト → MySoftBank → 各種変更手続き → メール各種設定 (オリジナルメール設定) → 迷惑メールブロック設定より設定。

子育て応援団 企業・団体 募集！

『月刊お母さん業界新聞』は、一般のフリーペーパー(広告紙)とは異なり、子育て中のお母さんが、心から笑顔になるためのメッセージを伝えている媒体です。この新聞をひとりでも多くの母親たちに届けようと、お母さん大学では「百万母カプロジェクト」を推進しています。ご賛同いただける「子育て応援団」(企業・行政・団体)を募集しています。子育て支援や次世代育成支援、社会貢献、地域振興、社員教育、販売促進、企画のプロモーションなどに、『月刊お母さん業界新聞』をご活用ください。



株式会社トランタンネットワーク新聞社 [お母さん大学] <http://www.okaasan.net/>
[トランタン新聞社] <http://www.30ans.com/>